

電気を安全に使うために

シーアイハイツ和光管理組合

建物火災の出火原因には、電気配線器具、電気機器によるものがあります。漏電・スパーク・断線等によって火災が発生する可能性があります。以下に電気を安全に使用する情報をまとめました。

(1) 分電盤について

使用電力量計（メーター）から住戸内に入ると分電盤があります。分電盤は電気の分かれ道で、屋内に電気を分けるほか、使い過ぎや漏電で事故にならないよう電気を遮断します。アンペアブレーカーは、各戸の契約電流を超えた電気が流れると自動的に電気が切れます

注1：漏電ブレーカーは、電気が漏れたときに自動的に電気を止める役割をしています。

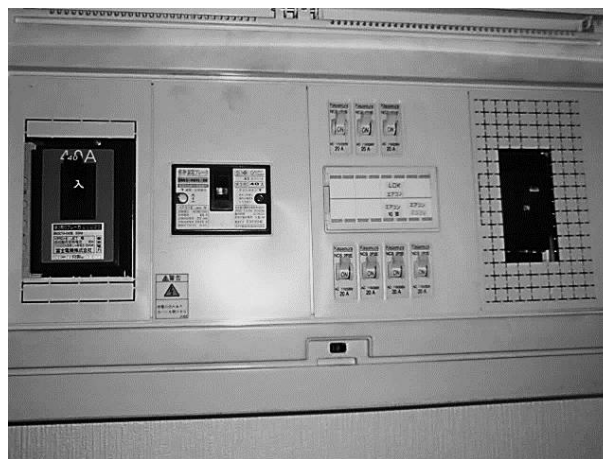
注2：安全ブレーカーは、設定アンペアを超えたり、機器に異常が起きると切れます。

(2) アンペアブレーカーが切れたら電気を使いすぎています。電気の使用を減らしてからアンペアブレーカーを上げてください。

(3) 漏電ブレーカーが切れたら

漏電の可能性のある回路をみつけるため次の操作をします。

- ①アンペアブレーカーのつまみが「入」になっていることを確認。
- ②安全ブレーカーのつまみをすべて「切」にする。
- ③漏電ブレーカーのつまみを「入」にした後、安全ブレーカーのつまみを一つずつ「入」にする。
- ④特定の安全ブレーカーを入れた際、漏電ブレーカーが切れたら、その回路に漏電が考えられる。
- ⑤すべての安全ブレーカーを「切」にして、再び漏電ブレーカーのつまみを入れる。
- ⑥問題のある回路以外の安全ブレーカーを一つずつ「入」にする。
- ⑦悪い回路が発見されたら、すぐに電気工事店に点検を依頼する。



(4) 安全ブレーカーが切れたら

使用中の器具の故障やコードの傷みが原因でショートしたか、その部屋で電気を使いすぎたことが原因と考えられます。器具のコンセントを外し、安全ブレーカーのスイッチを入れて下さい。

(5) 地震が起きたときは

使用中の電気機器はスイッチを切って、コンセントから外してください。避難するときにはアンペアブレーカーを切ってください。